2 健やかな体

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント	評議員)のコメント		
体力や健康への関心を もち,進んで体力の向上に	前期	おおむね 良好	白杤	運動面、体力づくりは、十分に行われていてよい。今後もマラソンやなわとびに一生懸命取り組んで、体力の向上を図ってほしい。			
努め,望ましい生活をしてい る		おおむね 良好	- 良好 	生活習慣の形成については、早寝が課題である。メディ等)との関係で、どうしても寝るのが遅くなってしまいがちゃき続き改善するように呼びかけていく必要がある。		ーム , 引	
評価指標			主な取り組み 自己評価B 前期 年度				
③体力の向上			体育指導の充実,業間運動の継続(マラソン・縄跳び)・外遊び等の奨励			4	
④望ましい生活習慣の形成			建康教育,生活リズムチェック,食育,「早寝・早起き・朝ご飯」			3	

【前期→年度】

前年度に引き続き、元気に体を動かしている児童が多く見られる。春の運動会やマラソン記録会なども子どもたちの頑張る姿が見られた。現在は秋のマラソン記録会に向けてマラソンタイムに取り組んでいるが、春の取組の時よりも自分の目標に向けて一生懸命取り組んでいる様子が見られる。各学級での目標設定も効果的に働いていると考えられる。また、体力テストでは今年度から縦割り班で各種目を回るように進めたが、6年生がリーダーシップを発揮してくれたので、円滑に進めることができた。さらに、今年度から新たに「健康アップカード」に取り組んでいる。各家庭で取組への差は見られるものの、一週間と長い期間を設け、カードも一新したことで、昨年度よりメディアとの関わり方が意識されてきたように感じている。早寝早起きやメディアコントロールと合わせて保健指導の月目標に沿った内容も項目に入れているため、昨年度より保健指導をする機会も増えている。年度末に効果が表れることを期待している。

学校の 改善策

【年度→次年度】

体育指導では、12月から1月までなわとびタイムに取り組んだ。子どもたちは昨年以上にレベルアップしており、難しい技ができるようになった人も増えた。なわとび集会では、なわとびタイムで練習した成果を発揮するとともに、大縄跳びなど各学年の工夫した取組も見られ、見応えのある集会となった。毎年続けている取組のため、マンネリ気味になっていないか心配していたが、子どもたちは新たな技ができるようそれぞれの目標に向かって前向きに取り組んだり、高学年が低学年にコツを教えたりする姿が見られたので、来年度も行いたいと考えている。

保健指導では、委員会活動と連携させて指導を進めている。今年度取り組んでいる「健康アップカード」やメディア依存に関するアンケートの内容について、健康委員会の子どもたちと検討し、健康集会で発表する準備をしている。本校の傾向としては、早寝とメディアに関わる時間が課題といえるので、その2点について全校児童に考えてもらえるようにしたい。今後も、児童が中心となって呼びかける取組を増やしたり内容を工夫したりすることによって、一人一人の意識を高めていきたい。

【各種データ】

L II	(1)性/ グ】		前期		期
保護者	アンケート	平均	肯定率	平均	肯定率
6	子どもは、「早寝・早起き」が身に付いている。	2.9	67	3	74
7	子どもは,毎日朝ご飯を食べている。	3.9	98	3.9	100
11)	学校では、業間運動や体育的行事等を通して、体力づくりに努めている。	3.7	97	3.8	99

		削捌		(皮) 判	
児童アンケート		平均	肯定率	平均	肯定率
1	夜遅くまで起きていないで、早寝、早起きを心がけていますか。	3.3	84	3.5	93
2	毎日、しっかり朝ご飯を食べて登校していますか。	3.9	97	3.8	98
3	歯みがき,うがい,手洗いなどをきちんと行い,清潔に心がけていますか。	3.7	94	3.8	99
4	健康のことを考え、好き嫌いをせずに食べるようにしていますか。	3.5	88	3.6	93
(5)	体を動かしたり運動したりすることは好きですか。	3.7	91	3.8	98
6	体力を付けるために、体育の時間やマラソン、縄跳び、スポ少活動などをがんばっていますか。	3.7	92	3.8	98

		前期		後期	
職員個	人評価	平均	肯定率	平均	肯定率
3	体育指導の充実,業間運動の継続(マラソン・縄跳び)・外遊び等の奨励	3.3	100	3.7	100
4	健康教育,生活リズムチェック,食育,「早寝・早起き・朝ご飯・歩いて登校」	3.1	100	3.4	100

自己評価A及び外部評価の評価区分	
○きわめて良好	
○良好	
○おおむね良好	
○やや不十分	
○努力を要する	

	自己評価Bの評価基準					
5	実現状況は極めてよく意識も高い/達成率91%以上、前年度比108%以上					
4	実現状況は良好で意欲もある/達成率80~90%、前年度比103~107%					
3	実現状況は概ね良好/達成率60~79%、前年度比98~102%					
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定/達成率50~59%、前年度比93~97%					
1	実現状況は不十分で努力を要する/達成率49%以下、前年度比92%以下					

益期 後期